

海外短信



～中国～

安徽省の省都・合肥

～ (株)アーレスティ ～

「合肥」をインターネットで調べてみると「安徽省の省都」、「合肥の戦い」などの言葉が並ぶ。西暦 200 年以降、曹操と孫権の間で何度と無く戦いが繰り広げられ、長江支流の重要な戦略的拠点とされてきた町である。三国志に興味がある人にとっては、中々魅力的な町であるらしい。

それはともかく、上海から西へ約 500 km、南京から西へ 150 km、いわゆる上海を中心とした華東地区の西側に位置する安徽省の省都であり、人口 500 万人を越える大きな町である。そして、その開発のスピードにも驚かされる。新幹線、高速道路、長江を利用した海上輸送など交通の便も良く、2013 年には国際空港の開港も予定され、日本への直行便もできるとのこと。

イベントホールなどそのデザインの大膽さは、幾度の戦いからこの町を守り抜いてきた自信とこれからの開発への覚悟を語りかけているように見える。

ただ、このあたりは昔から貧しく、今でも安徽省の一人当たり GNP は中国の中で下から 5, 6 番目であるらしい。貧しさに耐え慎ましく生活してきた歴史が、忍耐力や誠実さなどの気質を、そして、それを乗り越えようとする力強さを形作ってきたのかもしれない。

しかし、ここもご他聞に洩れず高層マンション建設ラッシュの光景があちこちで見られる。ただ、実際に住んでいる人は半分にも満たないようだ。一般庶民で買える筈も無く、誰が購入しているのか不思議に思う。市外、他省の人が多く購入しているようで、“バブル”の危うさを感じさせるが、暫くはこの町の変化に付き合っていきたいと思う。

中国での 2 番目の製造拠点となる私たちの工場（合肥アーレスティ）も、今年 7 月にやっと量産をスタートさせた。アルミダイカストの生産工場で、いわば自動車市場の拡大を支える黒子の役割だが、軽量化、高性能化やリサイクル化などに貢献できると自負している。

中国のスピードに負けないよう現地の人と一緒に頑張っていきたいと思っている。

【市政府ビルとイベントホール】



【建設進む高層マンション】

